

お部屋さがしは  
Dramatic Communication  
**アパマンショップ**  
NETWORK  
**大家さん募集中!**  
郡山南店  
郡山市香久池2-10-13  
(024)973-8355  
国道4号線沿い 郡山警察署近く

郡山市内毎週12万部発行!

ホームページもご覧ください!  
<http://www.the-weekly.jp/>

# 週刊郡山

# ザ・ウィークリー

発行所/週刊郡山社 〒963-0202 郡山市柏山町3番地 企画室・コア内 ☎(024)961-7722 FAX(024)952-6788(代表/広告・編集)週刊・無料

駐車場をお探しなら  
与すくアクセス!



福島信販駐車場センター  
☎024-932-6466  
PCからは <http://www.f-shinpan.co.jp/>  
携帯からはコチラ

聞きなれない「ハーレンフースバル」ということばですが、欧州では冬のシーズンオフに行われている競技で、大会にはドイツやスイスなど6カ国から計15チームが出場します。

尚志高校が初めて出場したのは2013年。この時は震災復興枠というのがあり、ハーレンフースバル財団からオファーを受け、仲村監督と梅津知巳コーチと話し合い、経験を積むにはよい機会、ということて1年生だけのチームで挑むことにしました。ただ、通常のサッカー部としての練習があること、また体育館は他の部活動で使用していることが多いため、ハーレンフースバル専門の練習はしていないそうです。それが今年8月に行われた日本予選ではJリーグのユースなど中心に28チームが出場するなか、1次、2次、決勝リーグを勝ち抜き、準決勝ではジェフ市原を、そして決勝では東京ヴェルディを破り、初優勝を飾りました。

### ●優勝してドイツへ!

梅津コーチも「正直、驚きました」と本音をぼつり。Jリーグのユースチーム相手に、ここまで勝ち上がったポイントは「高校サッカーらしい、諦めない気持ちで最後まで貫きとおせたこと」とおっしゃいます。チームは全員高校1年生。6月にメンバー選抜が発表され、キャプテンは宮下将吾くん(1年生)。ハーレンフースバルという競技はメンバーに選出されたときに初めて知ったとのこと。最初は少し戸惑いがありながらも、徐々に感覚をつかんでいきました。「日本予選では初めてのこともあり、モチベーションもそれほど高くなかったのですが、二回戦に進む頃にはチーム全員が優勝してドイツに行きたい!と気持ちがひとつに高まったと思います」と宮下くん。本大会での活躍も期待しています!!



〈撮影〉山回 郁生



◀キャプテン 宮下 将吾くん  
「プレー中はチームをまとめるため、常に声を出してみんなを励ましながらプレーすることを心がけています」1年生ながら、しっかりリーダーとして意識しています。

コーチ 梅津 知巳さん▶  
選手たちは試合を重ねるごとに創意工夫が見られたりと成長していきました。みんな気さくでサッカーが好きという純粋な子たち。まずは海外のサッカーを肌で感じてほしいですね。



みんなまで応援しましょう!!

尚志高校のサッカー部というと、皆さんご存知のとおり福島県を代表するサッカー強豪校のひとつです。2011年の第90回全国高等学校サッカー選手権大会では、創部以来初のベスト4へ進出など、仲村浩二監督率いるサッカー部はメキメキと実力をあげてきています。そして今回「ハーレンフースバルの国際大会に日本代表で出場」というユースが、ハーレンフースバル! いったい何の事かといえますと、欧州で降雪時期のトレーニングとして始まったサッカー競技。屋内壁ありの場所で行う5人制のサッカーです。フットサルにも似ていますが、フィールドが高さ1メートルの壁で囲まれるので、素早い攻守の切り替え、常に受けるプレッシャーの中での的確なプレーが鍛えられるそうです。

日本予選が今年8月19日から埼玉のウイングハット春日部で開催され、なんと高校生チームとして初優勝を飾りました。そして来る2015年1月17日から、ドイツにてケラミックカップ本大会に堂々出場します。

一歩も二歩も踏み出そう!  
新しい郡山・新しい夢!

主役は  
**ぼくだよ。**  
**わたしです。**  
番外編

5人制屋内壁ありサッカー競技「ハーレンフースバル」  
日本代表として国際大会  
「第33回ケラミックカップ2015」へ初出場!  
尚志高校サッカー部の皆さん